

しあわせを  
共に産み出す党  
日本共産党

# みな の 民 報

## 九月町議会報告

町議会議員 常山 知子

9月16～18日の会期中、皆野町議会の9月定例会が開かれました。(会期は3日間でしたが、16・17日の2日間ですべての審議が終了して閉会となりました)

一般質問は5名(小杉、常山、大野、林、内海)の各議員が行いました。

町長提出議案は16件(認定4件、議案8件、同意4件)でした。

主な内容は、平成26年度一般会計、特別会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)の決算認定、皆野町個人情報保護条例の一部改正、教育委員会教育長任命についてでした。

また、議案16件はすべて承認されました。

### ☆主な議案の審議

① 議案25・28号

「旧金沢小の利用決まる！」  
清水病院が介護予防施設に

質疑から

平成27年9月から32年8月の5年間の貸借契約。

○運動場などの施設は？

・地域の人達には支障のない限り施設の貸し出しをする。

○つつじの管理は？

・管理条項に入っているが、地元の人にも協力していただきたい。

○緊急避難所になっているが？

・これから検討、当面はわくわくセンターや日野沢の避難所を使っていく。

○投票所は？

・新しくできる消防署第4分団詰所が投票所になる。一階平屋で、長瀬町の詰所を参考にします。

② 議案26・27号

社会保障・税番号制度(マイナンバー制)の施行に伴う条例の一部改正。

常山議員は次の理由で二件の議案に反対しました。

「個人情報の流出の恐れ、サイバー犯罪のおそれがあり、安全対策をすれがするほどコストがかかり、多くの国民が制度について不安を持っています。この番号制度には反対で中止すべきです。よって本条例に反対します」

反対(内海、常山)

教育委員会教育長等の任命

について同意しました。

教育委員会教育長

豊田尚正氏(62歳) 皆野

教育委員会委員

横田有正氏(71歳) 三沢

監査委員

田島伸一氏(72歳) 三沢

公平委員会委員

堀口喜久氏(63歳) 三沢

尚、教育委員会委員長の新井清永

氏、教育長の山口喜一郎氏、公平委

員の染野恒雄氏の三名の方は任期満

了で退任いたします。長い間、ご苦労

様でした。

### 平成26年度(2014年)一般会計 決算

歳入 42億0330万5千円

(前年比 4996万9千円減)

#### 主なもの(特徴)

町民税	4億8555万5千円
固定資産税	5億3205万6千円
地方交付税	15億3072万円
国庫支出金	4億0689万7千円
県支出金	2億7749万7千円
町債	2億3680万円

歳出 39億9529万円

(前年比6213万6千円減)

#### 主な事業

庁舎・文化会館 設備改修工事	983万9千円
子育て世帯等定住促進事業	
住宅取得奨励補助金(25件)	2270万円
町営バス運行事業委託	2791万9千円
おでかけタクシー事業	72万5千円
秩父音頭まつり	400万円
道の駅みならのトイレ新築工事補助金	2000万円
大雪被害住宅助成金(160件)	574万5千円
町内小学校遊具更新・改修工事	568万1千円
皆野スポーツ公園テニスコート	
人工芝改修工事	2123万3千円





防災対策の山林整備と

山の資源をいかした

とりくみについて

(質 問) 土砂災害防止法に基づき、町内の基礎調査が実施され、調査結果の説明会も行われた。住民の不安や要望を受けて、防災にどう具体化していくのか。

(答 弁) 《建設課》町が所管する河川の改修工事は、これまでどおり適切に執行していく。県土事業についても、地域住民の要望・意見や連絡調整、用地確保の連携など協力していく。

《総務課》今年度町が見直しをしている地域防災計画とハザードマップに県が指定した警戒区域、特別警戒区域を盛り込み、土砂災害にそなえて地域の情報収集、自主的避難と安全な避難経路の説明をしていく。《産業観光課》現在、具体的な間伐事業はしていないが、国庫補助の美しい森づくり事業や県補助の国みどりの基金がある。

間伐材の活用としては、木の駅プロジェクトなどがある。

(質 問) 大雪で被害を受けた日野沢藤原地区の道路わきの木の伐採が9月末事業で終了する。伐採された

木は、そのまま放置され危険です。今後、予算をとって整備する考えはあるか。

(答 弁) 主旨はよくわかるが、プロが見て大丈夫だと言っている。町の厳しい財政の中でそこまでやりきれない。

(質 問) 山の資源をいかした取組み、山林整備を進める中で、間伐材などを利用してエネルギーへ転換させていく。地域の資源をいかして、町に働く場所をつくり、町を活性化させる。これは今、政府から作成を求められている、「地方版総合戦略」ではないか。考えていってもらいたい。

(答 弁) 研究してみたいと思います。

学校給食の地産地消を

進めるために

(質 問) 給食で使われている地元産の野菜の使用量が、年々減少しているが、(答 弁) 品物があれば、いくらでも使いたい、そろわないので減少している。

(質 問) 昨年給食センターで使ったので、今年もと予想を立てて作ったが使ってもらえなかった。と聞いている。計画的に生産者に野菜つくりを依頼する必要がある。JA任せにしないで、栄養士を含む給食センター、

生産者、JAが連携をとりながらやっていくべきです。

(答 弁) 去年話し合いを持ち、今後皆野産で足りない時は、秩父地域内で生産したものを使うと確認しました。また、作っても使ってもらえない。そんなことがないよう、検討委員会を立ち上げていきたい。

☆請願審査報告

「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願

この請願は「憲法9条を守る皆野の会」から出されました。

(いわゆる「戦争法案」といわれるものです) 請願は議会運営委員会にかけられ総務・教育・厚生常任委員会に付託されることになりました。

常山議員は委員会に付託することに反対し、国会の緊迫した状況を議員のみなさんが知らないとは思えません、一刻を争う請願を委員会に付託するということは、町民の意思を無視することでもあります。この本会議で討論し、意思表示をする、それが議会議員の役目ではないでしょうか」と発言。しかし、反対は常山議員だけで、委員会付託となりました。

議員のひとりごと

常山 知子



「今日もプ子家出して、国会前に立っています」と友人からメール。

「また国会前に来ちゃった!」とメールをくれたのは私の娘。「日本はどうなっちゃうの?」いても立ってもいられない気持ちだが、国会前へと足をむけたようです。そして政治にはほとんど関心を示してこなかった息子も18日にはそこにいたので、「私たちの分までがんばって!」と秩父から応援しました。

19日未明「安全保障関連法案」は可決されてしまいました。

日本列島2000力所以上で「廃案」の声が響きました。若者が、子どもを持つ若いお母さん、戦争体験者が、そして学者、芸能人、多くの国民が憲法違反の法律はダメと声をあげました。安倍首相や法案賛成の方は「国民の生命、財産を守るためだ」「国際情勢の変化、北朝鮮が、中国が...」といいますが、軍事対軍事ではなく、平和憲法を持つ日本が果たす役割は他にあるのではないのでしょうか。

今回、私たち一人一人が主権者として「憲法を守れ」と声を出し、政治に無関心だった多くの若者が「なんかおかしいよ」「民主主義って何だ!」と声をあげたことは未来に希望を見いだしたと思います。